

## 国際医療福祉大学熱海病院

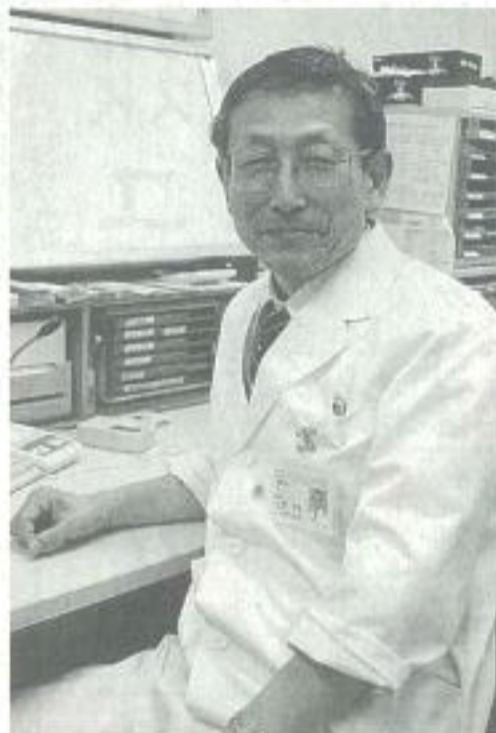
### 小野 孝彦教授

(腎臓内科  
漢方内科)

漢方が身近になってきたとはいえ、専門外来は県内ではまだ少ない。国際医療福祉大学熱海病院（熱海市東海岸町）は今年4月、日本東洋医学会東海支部俱部会長の小野孝彦教授（腎臓内科）の着任と同時に漢方内科を開設した。

週1回の外来は、大学病院だが紹介制ではなく、敷居を感じずに受診できるのが特徴だ。「大学病院に期待される移植など高度医療

を行う一方で、地域の中核病院としても、患者さんに安心の医療を提供しながら生活の質の向上を図りたい。そこに漢方が貢献できる部分は大きい」と小野教



「不調が続くようなら、漢方外来を受診してほしい」と話す小野孝彦教授。熱海市東海岸町の国際医療福祉大学熱海病院。

# 生活の質向上サポート

授は開設の意義を強調する。

外来では、体調がすぐれない、診断名がはっきりつ

かない、西洋薬で一定の効果が出た上にさらに改善したい、といった症状や希望に対して内科的診療を行

い、必要があれば他科の専門医とも連携して漢方薬を処方する。

場所柄、患者は「第二の

人生」を送る定年世代以降の人たちが多い。「慢性病の対策をとりながら、体調を落ち着かせることでまた前向きな気持ちになれる。自立した生活が送れるようサポートするのが漢方の特性なので、すっきりしない場合は受診し、相談してほしい」と助言する。

患者の体調に寄り添う

漢方の効果が実証されるにつれ、県内でも多くの医師が処方の中に漢方を取り入れ、また日本東洋医学会会員や認定専門医の数も増えている。同院でも現在2人が漢方専門医を目指している。小野教授は「大学病院のチーム医療の中で積極的に若手を育成し、裾野を広げていきたい」と話す。

県内の漢方専門医がいる病院、診療所の検索は、「日本東洋医学会」ホームページ <http://www.jsom.o>

http://